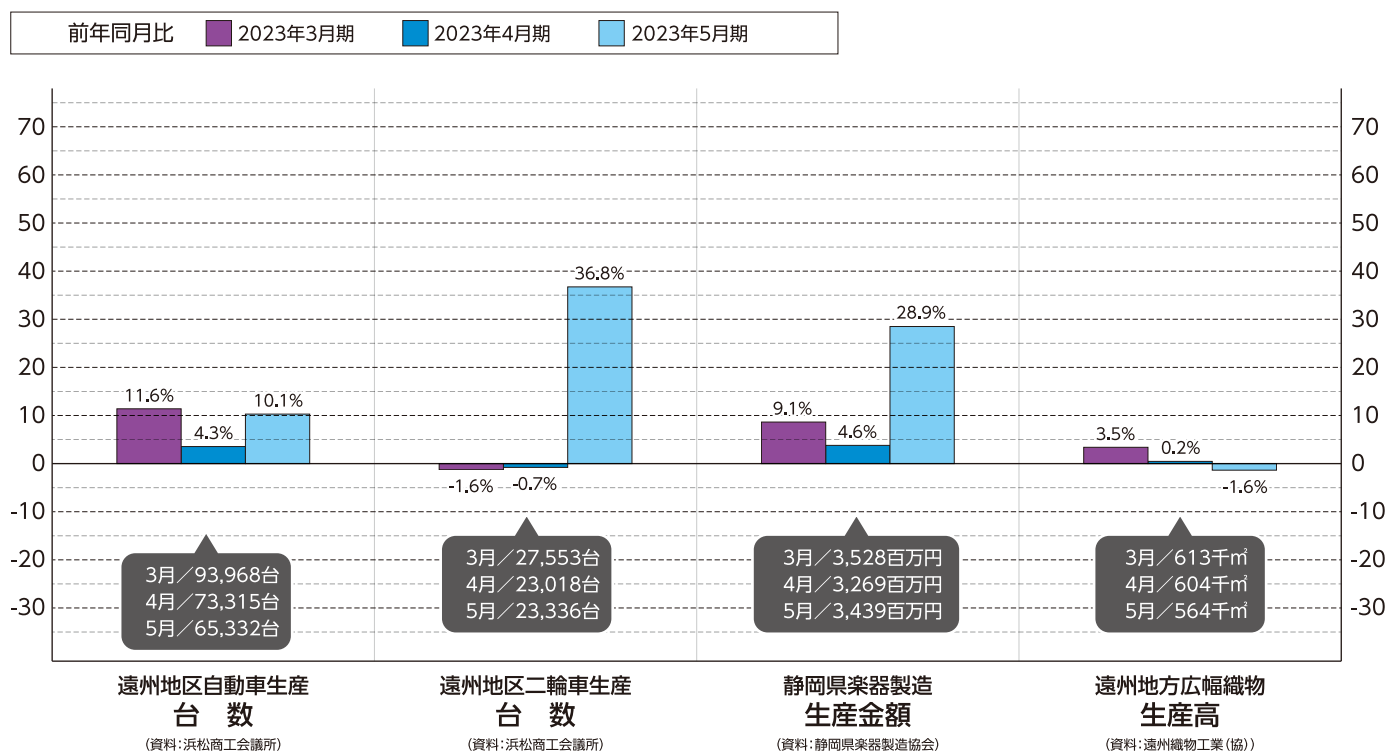


## 新型コロナウイルス感染症の5類移行で経済活動が回復し業況は改善

製造業では、供給制約の緩和もあり、自動車、二輪車の生産台数、楽器生産金額は前年同月を上回った。新型コロナウイルス感染症の5類移行で経済活動は正常化しつつあり、タクシー乗車延人員、ホテル稼働率は改善した。浜松管内における雇用情勢は回復傾向となっているが、有効求人数は業種により二極化傾向となっている。倒産件数に大きな変化はないが、物価高騰の影響が懸念される。日米の金利差は解消されず円安要因となっている。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



## 自動車



2023年5月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比10.1%増の6.5万台となった。前年の大手メーカー工場稼働停止による反動増が影響している。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は4.3%増、小型四輪車は32.0%増、普通自動車は30.1%減となり、小型四輪車については13カ月連続で増加となっている。国内向けは23.7%増、輸出は23.2%減となり、国内向けは3カ月連続で増加となった。

## 二輪車



2023年5月における二輪車生産台数は前年同月比36.8%増の2.3万台となり、4カ月ぶりに増加となった。国内向けは17.9%減、輸出は48.0%増となり、輸出は2カ月連続で増加となっている。排気量別では、50cc以下59.7%増、51cc～125cc以下19.6%減、126cc～250cc以下17.0%減、251cc以上54.4%増となり、251cc以上は2023年2月の0.6%減を除けば12カ月増加となっている。

## 楽器



2023年5月における生産金額は前年同月比28.9%増の34.3億円となった。生産金額は11カ月連続で前年同月を上回り、引き続き月間30億円超をキープしている。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ16.6%増、電子・電気ピアノ53.5%減、電子オルガン33.3%増、管楽器23.2%増となった。

## 繊維



2023年5月の生産高は前年同月比1.6%減の564千㎡となり、4カ月ぶりに前年同月を下回った。コロナ禍から経済活動が再開しつつあるが、アパレル向け生地生産は、原材料高・生産コスト高・物流コスト高で厳しさが続いている。アパレル企業によっては、生地生産の依頼の他、現物在庫の問い合わせが増えている。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年5月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比8.9%増の32.1万人となった。5月には浜松まつりが開催され、風揚げをする人やその家族を中心に乗車があった。また、浜松まつり以降は例年売上が下がるが、今年はホテルなどの催事も増え、前年同月を上回った。

### 観光

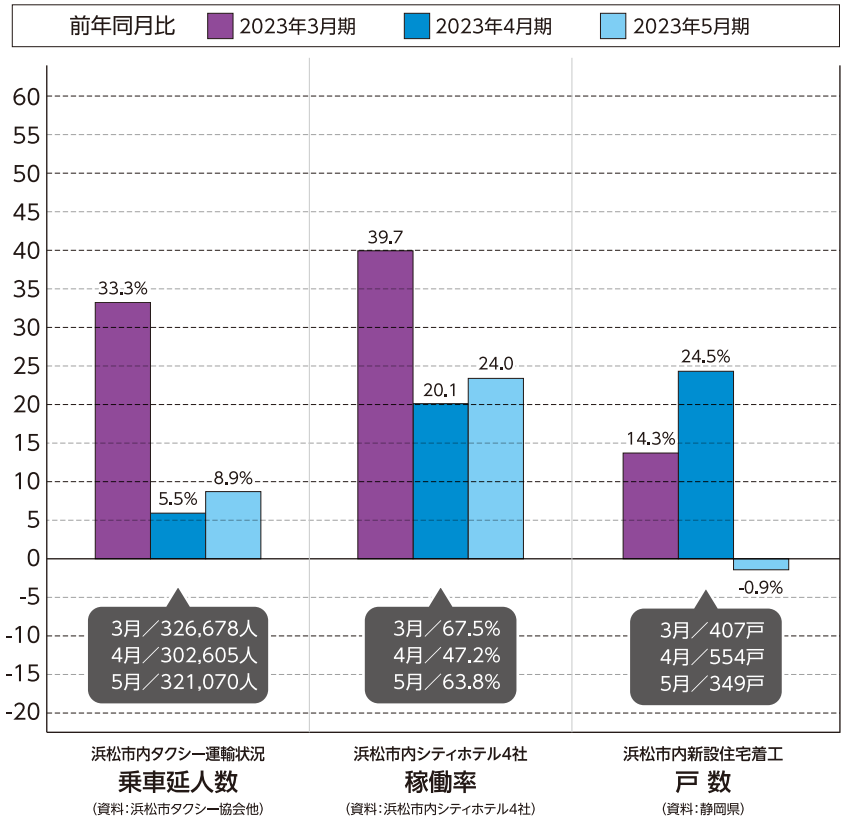


2023年5月の浜松市内ホテルの稼働率は63.8%で、2カ月ぶりに60%台に戻した。5月にコロナが5類に移行し、浜松まつりや松本潤さんの騎馬武者行列もあり、個人客を中心に好調だった。インバウンドも伸びつつあるが、まだ東南アジアが中心で、中国人客が戻るかがポイントになっている。

### 住宅着工



2023年5月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比3戸(0.9%)減少の349戸となった。内訳をみると、持家は166戸、貸家116戸、分譲住宅は67戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年5月の有効求人倍率は1.22倍となった。前年同月との比較では0.12ポイント上回った。前月との比較では0.04ポイント上回った。全国(1.31)との比較では0.09ポイント、静岡県(1.26)との比較では0.04ポイント下回った。有効求人倍率は前年同月を上回る月が続いており、雇用情勢の回復がみられるが、全国、静岡県を上回るまでには回復していない。業種により求人数の二極化の傾向が見られる。

### 倒産企業



2023年5月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は5件、負債総額は7.6億円となった。倒産件数は前年同月より1件減少したが、負債総額は1.9億円増加した。負債総額は7カ月連続で前年同月を上回っている。静岡県全体の倒産件数は12件で、前年同月を9件下回った。原材料高や円安が長期化しており、今後の倒産増加が懸念される。

### ガソリン価格

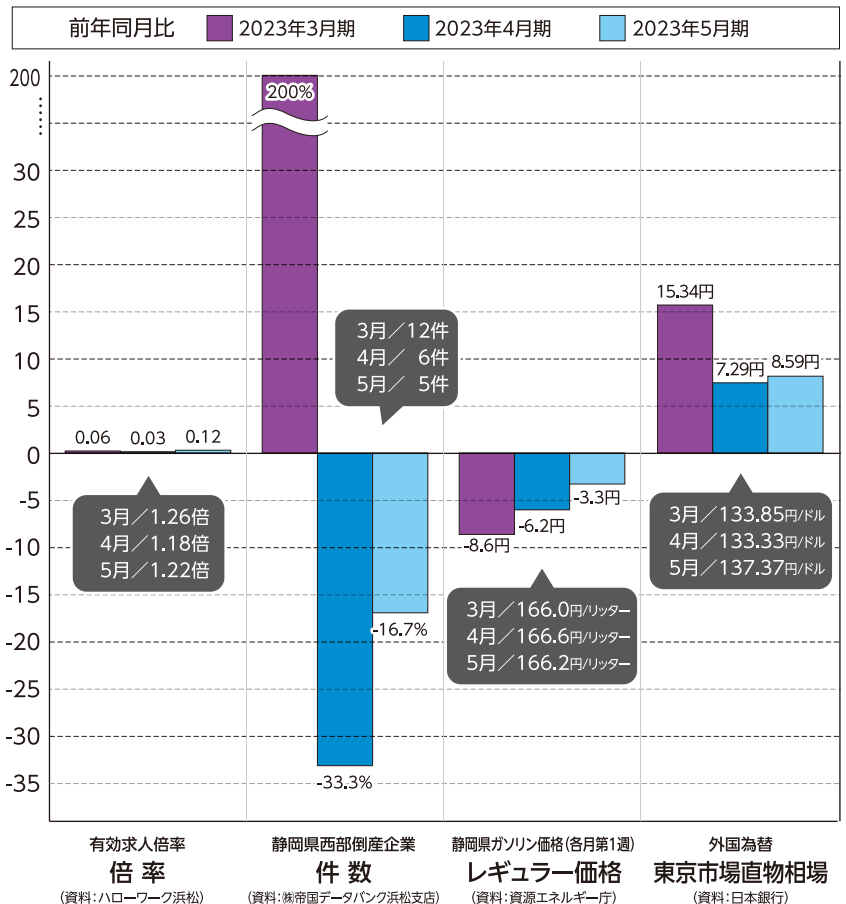


2023年5月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり166.2円となった。前年同月より3.3円低下した。前月との比較では0.4円低下した。

### 外国為替



2023年5月の外国為替は1ドル137.37円、前年同月と比較すると8.59円、前月との比較では4.04円の円安となった。日米の金利差は解消されず円安要因となっている。



# 業況DIはコロナ前に回復

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、前回調査から改善した。コロナの5類移行で、飲食・宿泊・レジャー、卸売、小売が改善したほか、製造業も改善した。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI(Diffusion Index)による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

**2023.**  
**4月～6月期**  
中小企業景況動向調査  
結果報告  
2023年8月発行

	全体			うち小規模事業者			
	調査数	業況		調査数	業況		
		前期	今期	見通し	前期	今期	見通し
全体	630				262		
二輪車部品製造	51				20		
自動車部品製造	77				22		
機械部品製造	54				32		
楽器部品製造	21				14		
繊維製造	23				18		
卸売業	76				27		
小売業	61				27		
建設業	71				14		
不動産業	45				32		
飲食・宿泊・レジャー等	25				[2023年4月～6月期中小企業景況動向調査]より浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景況動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。		

### 調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 主要取引先からの受注は安定しており、業況は堅調に推移している。(自動車部品製造業)
- コロナが5類に移行し、取引先から受注の問い合わせが増加している。(繊維製造業)
- 今春は早期に気温が上がったため、エアコン・空調の問い合わせが例年よりも早い。(小売業)
- 卵など原材料高の要因により、収益が圧迫される状況である。(飲食業)

### 天気予報図の見方

DI:景況動向指数

DI:-30.0以下	DI:-10.0～-29.9	DI:-0.1～-9.9	DI:0.0～9.9	DI:10.0～19.9	DI:20.0～29.9	DI:30.0以上

← 低調 → 好調